



日 監 第 4 2 6 号
令和元年 11 月 11 日

日 田 市 長 原 田 啓 介 様
日 田 市 議 会 議 長 石 橋 邦 彦 様

日田市監査委員 小ヶ内 聡行
同 井上 正一郎

財政援助団体監査の結果について(報告)

地方自治法第 199 条第 7 項により財政援助団体の監査を実施したので、同条第 9 項の規定により、その結果を次のとおり報告します。

令和元年度財政援助団体監査結果報告書

目 次

1	監査の対象	1
2	監査の期間	1
3	監査の場所	1
4	監査の結果	1
	・まえがき	1
	・地域おこし協力隊員起業支援補助金 (カルボンカンパニー 代表 飯沼 哲)	2
	・地域おこし協力隊員起業支援補助金 (Café&Bar き々や 代表 井手 秀彦)	3
	・地域おこし協力隊員起業支援補助金 (一般社団法人 奥日田ローカルツーリズム 代表理事 長 豪)	4

1 監査の対象

補助金等の名称	財政援助団体等の名称・代表者名
地域おこし協力隊員起業支援補助金	カルボンカンパニー 代表 飯沼 哲
地域おこし協力隊員起業支援補助金	Café&Bar き々や 代表 井手 秀彦
地域おこし協力隊員起業支援補助金	一般社団法人 奥日田ローカルツーリズム 代表理事 長 豪

2 監査の期間 令和元年10月2日から令和元年11月5日まで

3 監査の場所 監査委員事務局、各財政援助団体等の事務所・店舗等

4 監査の結果

まえがき

今回の監査は、日田市が平成30年度において、補助金等の交付を行った事業の中から、事業の内容及び補助金等の交付額等を勘案して事業を抽出し、これらの対象事業が計画的且つ、交付条件に従って実施され、十分な効果があげられているか、また被補助団体における会計経理、財産管理の方法は適正で出納関係帳票は確実に整理されているか、さらに補助金等の交付額及び、その時期、方法、手続き等は適正であるか等に重点をおき、関係団体の代表者や、所管課の関係職員などから説明を聴取し、書面監査を実施したものである。

監査の結果については、概ね適正に事業の執行及び事務処理が行われていた。

以下、監査結果に関する意見を順次記述する。

◎地域おこし協力隊員起業支援補助金

ア. 財政援助団体等の名称・代表者

カルボンカンパニー 代表 飯沼 哲

イ. 財政援助額 994,000 円

ウ. 所 管 課 上津江振興局

エ. 事業の執行状況

カルボンカンパニーは、平成 30 年 9 月 1 日に上津江町において設立されたもので、平成 27 年度から平成 29 年度までの 3 年間、上津江町で地域おこし協力隊活動を行う中で、地域課題の一つである農林業等の人材不足を認識したことから、定住し多種多様な仕事を行う「マルチワーク」により生活基盤を確保しつつ、課題解決の一助を担うことを目的としている。

主な活動としては、半農半 X の実践として定住するため住宅、倉庫とともに購入した農地及び林地等を活用し農林業に従事するとともに、これまでの活動の中で培った人脈と経験を生かし、空き家の片づけや家具等の移動まで行う「何でも屋」のほか、協力隊着任以前から本業として行っていた「楽器製作」や、松原ダムでの観光船運転・受付など様々な仕事をこなすマルチワークを実践している。

カルボンカンパニーにおいては、今後も引き続き、活動の更なる充実・継続に努めるよう希望するものである。

オ. 監査結果による意見

監査の結果については、全般的に見て、事業は概ね財政援助の目的に沿って実施されている。

◎地域おこし協力隊員起業支援補助金

ア. 財政援助団体等の名称・代表者

Café&Bar き々や 代表 井手 秀彦

イ. 財政援助額 1,000,000 円

ウ. 所 管 課 上津江振興局

エ. 事業の執行状況

井手氏は、平成 28 年 5 月から日田市の地域おこし協力隊員として上津江町で活動し、道の駅せらぎ郷かみつえのジビエメニューを考案するなど、料理を通じた地域活動を行うことにより、日田市の地域力向上と活性化に努めてきた。

これらの経験を活かし、日田の玄関口である駅前通り商店街にジビエメニューや日田の食材や飲料を提供しながら、日田市のアピールを行うことを目的として、平成 30 年 9 月にカフェ・バー「き々や」を開店し、日産ジビエ料理の提供と日田市の情報発信、交流の場として営業している。

現在、提供しているメニューは、「ししカレー」、「ジビ味噌」等の他、「つえ茶」や、「大山ミントを使ったお酒」など、日田市の食材を幅広く取り入れ、若い世代から、高齢の方まで幅広い客層が足を運ぶ店として利用されている。

地元で生産される農産物を地元で消費する「地産地消」という考え方が消費者にも浸透しつつある今日、ひたジビエの消費拡大につながる取組として、期待するものである。

オ. 監査結果による意見

監査の結果については、全般的に見て、事業は概ね財政援助の目的に沿って実施されている。

◎地域おこし協力隊員起業支援補助金

ア. 財政援助団体等の名称・代表者

一般社団法人 奥日田ローカルツーリズム 代表理事 長 豪

イ. 財政援助額 1,000,000 円

ウ. 所 管 課 観光課

エ. 事業の執行状況

奥日田ローカルツーリズムは、前津江、中津江、上津江、大山地域を指す「奥日田」の自然観光の振興に取り組むため、平成 28 年 6 月から活動限定型の地域おこし協力隊員として、また、観光課とともに「奥日田デザイン会議」の事務局として活動を行ってきた長氏が、代表理事に就任し設立されたものである。

奥日田地域の観光振興については、これまで任意の協議会等の組織において取り組んできたものの、その事業展開は行政主導によるものであり、財源についても、行政からの財政的援助によるものであったことから、主体的かつ継続的な活動による効果が得られにくい状況にあった。

このことから、奥日田地域の豊かな自然環境を活用した質の高い魅力的な観光地域づくりを推進し、持続的発展を促進するプラットフォームとして、エリア全体を俯瞰し、既存事業者等との連携を図りながら事業展開に取り組む、中間支援の機能を果たす組織の設立が求められていたものである。

現在の活動としては、奥日田デザイン会議運営の調整と事業の企画立案のほか、奥日田情報ウェブサイト「奥日田の山と川」の運営を通じた情報発信を行うなど、奥日田ブランドの確立に向け取り組んでいる。

最近、企画した事業としては、10 月初旬に上津江町のオートポリスにおいて「グランピングイベント」を試験的に開催し、参加者からの好評を得たところである。

また、狩猟をテーマにしたイベントとして「奥日田狩猟キャンプ」を企画し、来年早々に実施する予定であり、地域資源を活用した話題性のある事業を展開している。

今後も、自然観光に関する事業の継続的な企画立案、実施により、地域の知名度の向上と、観光地域としての奥日田ブランドの確立に向けて取り組むよう期待するものである。

オ. 監査結果による意見

監査の結果については、全般的に見て、事業は概ね財政援助の目的に沿って実施されている。